

南房総捕鯨伝承施設～醍醐新兵衛墓所、鯨塚ほか～

千葉県・鋸南町



鯨塚



醍醐新兵衛墓所

勝山村（現安房郡鋸南町）は、江戸時代から続く房総捕鯨発祥の地であり、房総捕鯨の祖である醍醐家は代々新兵衛を称し、船乗りのグループである鯨組や解体するグループである出刃組、鯨油を摂る釜前人足など組織化された捕鯨業の総元締めとして、また、大名主として村を指導していた。

明治になり、勝山の捕鯨は終わりを告げるが、板井ヶ谷の弁才天境内にある数十基の石宮は鯨塚と呼ばれ、ひと夏の捕鯨の漁期が終わるごとに、出刃組が鯨への感謝と供養を兼ねて一基ずつ建立したもので、歴史的にも勝山の捕鯨を伝える貴重な文化遺産である。

TOPICS

- ・勝山地区祭礼 7月第2週土曜日 開催
その祭礼の翌日、日曜日には浮島への島渡しがあり、鯨唄が歌われる

お問い合わせ先

鋸南町歴史民族資料館
TEL / 0470-55-4061

【交通】

徒歩 / JR安房勝山駅から醍醐新兵衛墓所 10分
" 鯨塚 15分

